

おおやぶ

学校だより
臨時号
令和8年
10月2日発行

京都市立大藪小学校
明治6年7月1日創立
学校長 田野 博文
〒601-8206 京都市南区久世大藪町62
TEL 075(921)3303
FAX 075(933)3600

学校評価のためのアンケート結果・考察

表の見方

重要度・実現度：7点満点で、数字が高ければ「重要である」「できている」と評価できる。
ニーズ度：数字が高ければ重要度と実現度の差が大きく取組の見直しが必要とされる。

【児童】

	質問文	低学年	中学年	高学年
確かな学力	1 授業中、勉強はよくわかりますか。	5.7	6.0	6.1
	2 授業中、勉強に一生懸命取り組んでいますか。	6.0	6.0	6.0
	3 進んで発表したり、しっかり人の話を聞いたりしていますか。	5.7	5.6	5.5
	4 毎日、決まった時間、家庭学習をしていますか。	6.0	4.9	4.6
	5 学校や家で、進んで読書をしていますか。（本を読んでいますか）	5.4	4.5	4.1
豊かな心	6 クラスや学校での生活は楽しいですか。	6.0	6.4	6.5
	7 進んで「おはよう」「ありがとう」などのあいさつが言えますか。	6.1	6.3	6.1
	8 学校やクラスのきまりや約束を守っていますか。	6.0	5.8	5.8
	9 思いやりの気持ちを持ち、相手のことを考えて行動していますか。	6.1	5.8	6.0
	10 進んで係や当番の仕事をしていますか。	6.4	6.3	6.2
健康な体	11 早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活をしていますか。	5.7	5.8	5.2
	12 1・2年生は10時間以上、3・4年生は9時間半以上、5・6年生は9時間以上の睡眠をとっていますか。	5.6	5.4	4.7
	13 平日、メディア（テレビ、ゲーム、SNSや動画を見るなど）は、あわせて2時間までにしていますか。	5.6	4.5	3.4
サポーター・アドバイザー	14 クラスや学校の活動や生活で、人の役に立っていると感じていますか。	5.9	5.2	4.9
	15 自分には、よいところがあると思いますか。	5.7	5.3	5.0
	16 今の自分が好きですか。	5.7	5.2	4.9
いじめ	17 学校であったことを、家の人に話していますか。	5.7	5.8	5.7
	18 困ったことやいやなことがあったら、友達や周りの大人に相談できますか。	5.6	5.6	5.8
	19 クラスや学年、学校の仲間を大切にしていますか。	6.5	6.2	6.5

【保護者・教職員】

	質問文	保護者			教職員		
		重要度	実現度	ニーズ度	重要度	実現度	ニーズ度
確かな学力	1 子どもにとって授業がよく分かること。	6.4	5.1	18.5	6.5	4.8	20.8
	2 子どもが授業に一生懸命取り組むこと。	6.4	5.3	17.5	6.6	5.1	19.1
	3 授業中、子どもが進んで発表したり、しっかり周りの話を聞いたりすること。	6.3	4.8	19.9	6.6	4.6	22.4
	4 子どもが毎日、学年相応（10～15分×学年）の時間、家庭学習に取り組むこと。	6.0	4.7	19.7	5.8	3.8	24.4
	5 子どもが学校や家で、進んで読書をする事。	5.9	3.8	24.5	5.9	3.5	26.6
豊かな心	6 子どもが毎日楽しく学校に通うこと。	6.6	5.8	14.8	6.7	5.6	16.1
	7 子どもが進んで「おはよう」等の挨拶や、「ありがとう」が言えること。	6.6	5.3	17.7	6.8	4.9	21.1
	8 子どもが、学級や学校のきまりや約束を守ること。	6.4	5.7	14.9	6.5	5.2	18.2
	9 子どもが相手を思いやり、考えて行動すること。	6.6	5.5	16.7	6.8	5.4	17.7
	10 子どもが進んでお手伝いをする事。	5.9	4.8	19.1	6.1	5.0	18.3
健康な体	11 子どもが早寝・早起き・朝ご飯等、規則正しい生活をする事。	6.3	5.2	17.8	6.5	4.2	24.7
	12 子どもが9～10時間の睡眠をとること。	6.3	5.0	19.2	6.6	4.0	26.4
	13 平日、メディア（テレビ、ゲーム、SNSや動画を見るなど）は、あわせて2時間までにしていますか。	5.9	3.8	25.1	6.2	3.3	29.1
サポーター・アドバイザー	14 子どもが人の役に立っていると感じる事。	6.3	5.0	19.0	6.5	4.8	20.8
	15 子どもが自分によいところがあると感じていること。	6.5	5.3	17.6	6.5	4.8	20.8
	16 子どもが自分のことを好きと感じること。	6.6	5.4	17.3	6.3	4.9	19.5
いじめ	17 子どもが学校であったことを、家の人に話すこと。	6.2	5.2	17.6	6.4	4.8	20.5
	18 子どもが困ったことや嫌なことがあったら、友達や周りの大人に相談できること。	6.6	5.3	17.9	6.6	5.2	18.5
	19 子どもが学級や学年、学校の友達を大切にすること。	6.5	5.8	14.5	6.8	5.3	18.4

◇ アンケートにご協力いただいた保護者の皆さん、ありがとうございました。また後期もお願いいたします。

学校教育目標：自分でできる みんなとできる 大藪っ子

アンケート結果からは、「楽しく学校に通っている」「友達を大切にしている」「授業に一生懸命取り組んでいる」といった項目について、昨年度に引き続き、高い評価が見られました。また、「自分によいところがあると感じている」や「困ったときに周りの大人や友達に相談できる」などの項目についても比較的高い評価が見られ、子どもたちが安心して学校生活を送り、仲間や身近な大人との関わりを大切にしながら学んでいる様子がうかがえます。

「あいさつが言える」についても、数値が上がってきています。朝の登校時の「おはようございます」だけでなく、それぞれの立場、場面で子どもたちと接するときに、私たち教職員もそれを実感しています。コミュニケーションの第一歩となるあいさつから、互いの考えや想いを伝え合える子どもたちへとますます成長していけるよう歩みを進めたいと思います。

全体として学校生活に関する評価が安定して高いことから、保護者の皆様に学校の教育活動をご理解いただき、学校と家庭が協力しながら子どもたちを育てていけると感じています。

一方で、「メディア利用時間」「読書習慣」「家庭学習の習慣化」については、子どもたち自身や保護者の方の回答からも継続した課題として挙げられています。課題については、児童・保護者・教職員の三者で、認識が一致していました。今回のアンケートでは、メディア利用時間の問いを「平日」としましたが、結果は大きくは変わりませんでした。

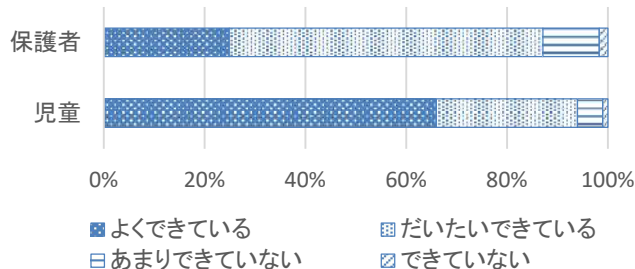
一日は誰にとっても 24 時間です。メディアに触れる時間が長くなると、その分、家庭学習や読書、睡眠の時間が少なくなりがちです。特に学年が上がるにつれて、家庭での学習時間や読書の機会が少なくなる傾向が見られ、学力を支える基盤づくりの重要性を改めて感じています。特に4年生で一気に数値が下がる傾向にあります。

スマートフォンやタブレット、ゲーム機は、学習やコミュニケーションにも役立つ便利な道具ですが、使い方によっては生活リズムの乱れや学習時間の減少につながることもあります。学校では情報モラル教育を進めていますが、子どもたちがよりよい生活習慣を身に付けるためには、ご家庭でのルールづくりや声かけが欠かせません。引き続き、ご協力をお願いいたします。

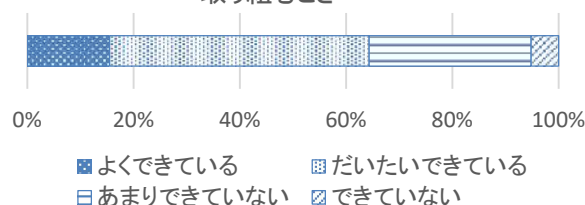
前期学校評価アンケートでは、多くの保護者の皆様にご協力いただきました。お忙しい中、ありがとうございました。いただいた評価を真摯に受け止め、子どもたちが「分かる・できる喜び」を実感できる授業づくりを進めるとともに、授業以外の場面でも子どもたちが自分自身の価値に気づき、夢や目標に向かえるようサポートしていきたいと思っております。



6. 進んであいさつが言える



4. 学年相応の時間、家庭学習に取り組むこと



【成果】

- ◎ 楽しく学校に通っている
- ◎ 友達を大切にしている
- ◎ 授業に意欲的に取り組んでいる

【今後の課題】

- メディア利用時間の適正化
- 読書習慣の定着
- 家庭学習の充実

★ 記述式回答 ★



「子どもたちが将来、夢やねがいを実現するために小学校の

6年間でどんな学びが必要だと思いますか。」

アンケートの最後に、昨年度同様、上記の問いを付けさせていただきました。たくさんの回答をいただき、有難うございました。皆さんの貴重な意見を共有し、今後の学校教育の指針に反映させていただこうと思います。主なものを紹介します。

1. 自分の軸（主体性）に関わること

- ・自分を理解し、努力できる力
- ・ルールを守ることができる心
- ・自分で考えて挑戦する力
- ・基礎基本の学力
- ・継続して、粘り強く頑張る気持ち
- ・自己肯定感を高めること 自分はできるという自信
- ・自分の得意なこと・好きなことを1つでも多く見つける
- ・小さな成功体験を積むことでの自信。同時に、失敗体験からも学べる力
- ・自分を好きになる、自分を大切にすること
- ・職業に繋がる学習、キャリア教育
- ・自分の思いや意見を伝える力



まさしく、学校教育目標の

「**自分でできる** 大藪っ子」のめざす姿です。保護者の皆さんと同じ考えです。何事にも、自分が主体者となって、考え、行動できる子をめざします。他人事にはしません。自分という軸を太く、しなやかにしたいと思います。



2. みんなの軸（社会性）に関わること

- ・周囲と協力して何かを成し遂げる経験
- ・他人を思いやる気持ち、協調性
- ・友達との絆、コミュニケーション力
- ・多様性を理解し、受け容れる心
- ・挨拶、礼儀
- ・いろいろな人と関わること
- ・縦のつながり
- ・周りへの感謝の気持ち

まさしく、学校教育目標の

「**みんなとできる** 大藪っ子」のめざす姿です。

ちがいを認め合い、ちがいを力に変える集団をめざします。「みんなちがう」がスタートです。授業の中で、みんなタイムという学び合い（愛）の時間を大切にしています。誰とでも分け隔てなく関われるみんなの軸を太く、しなやかにしたいと思います。

保護者の方が書いてくださった考えは、本校の学校経営方針と共通する点がたくさんありました。ホームページに学校経営方針を掲載していますので、合わせてご覧ください。共通点が多いということは、保護者の方々と共に協力して、子ども達の「生きる力」を育ていけるということですので、とても心強いです。子どもたちの将来が幸せなものになるよう、学校と保護者の皆さん、そして地域の皆さんが三位一体となって、学校教育、家庭教育、地域教育に邁進できたらと考えます。教職員一同、子どもたちが「大藪小学校で過ごせてよかった」と思えるような学校生活にできるよう、これからも努力してまいります。そして、卒業生が社会で活躍し、未来を担う若者になっていくことを心から願っています。今後とも、ご理解・ご協力を何卒よろしくお願い致します。

